

RFにより深部の加熱を実現した“唯一”の複合治療器

光とRFのシナジーにより、高い臨床効果と安全性を実現

美容クリニックのラストアイテム「ePlus」 色調・形状・質感から脱毛まで、美容メニューのベースに

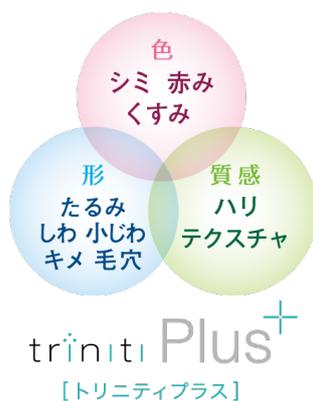
多くの患者様にとって肌の悩みはひとつではなく、色素斑やたるみ、しわなど、複合的な肌の悩みを抱えています。しかし、個々の治療器の波長や出力には限界があり、それら全てをカバーするのは難しく、患者様の要望に応えるためには、様々な治療器を揃えなければなりません。

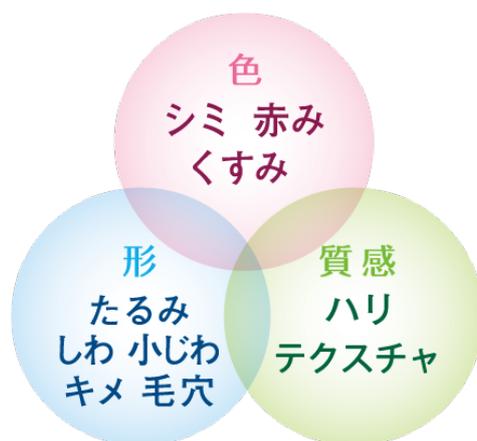
Syneron社製の最新複合機「ePlus」は、1台で10種類のアプリケーションを搭載することができるため、費用やスペースの面でもたいへん効率的です。

ePlusのアプリケーションは、単独使用はもちろん、組み合わせて治療することもでき、症状や目的に合わせた幅広い治療を可能にします。



ePlusによる治療は、痛みやダウンタイムが少ない、すぐにメイクができる、肌全体の改善が実感できるなど、美容治療をはじめて受ける患者様でも受けやすく、様々な美容治療を受けてきた患者様にも満足度の高い治療です。リピーターへ、さらには次の治療のステップへとつながる、美容メニューのベースとして使用できる複合治療器です。





trinitity Plus⁺
【トリニティプラス】

ワンランク上の Total Skin Rejuvenation 「トリニティプラス」

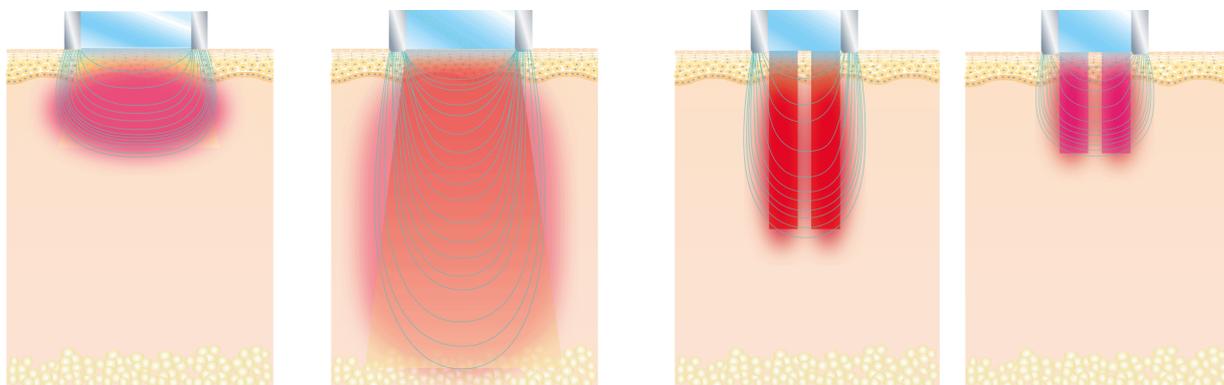
ePlus であれば、1 台でワンランク上のトータルスキンリジュビネーション治療を可能にします。
アプリケーションの組み合わせにより、複合的な主訴に対して同時に改善させることができ、高い患者満足が
得られる治療です。

トリニティプラスの特長

- 複数の主訴をまとめて改善することが可能
- 相乗効果による高い治療効果
- シミ治療においては、色調改善だけではなく、ハリ・キメの改善にも優れた効果を発揮
- たるみ治療においては、真皮深部まで安全に加熱でき、高い治療効果が得られる
- スキンタイプに応じた安全な治療が可能
- 痛みやダウンタイムが少なく、すぐにメイクが可能
- 1回の治療でも効果を実感しやすく、患者満足度が高い
- 1クール3~4回のリピート治療で、集客効果が高い
- 美容治療がはじめてな患者様でも受けやすい治療、様々な美容治療を受けてきた患者様でも高い満足度
- Qスイッチレーザー治療、HIFU（超音波）、RF治療、フラクショナル治療などの前段階や、メンテナンス治療としても最適

熱作用と深達度の違いが相乗効果をうみだす、トリニティプラス

アプリケーションごとに加熱温度、熱作用が及ぶ深度、面積が異なるため、これらを組み合わせて治療を行うことにより、より高いスキンリジュビネーション・形状改善の相乗効果が期待されています。



アプリケーション	SR/SRA	Sublime	Motif IR	
			IR モード	モチーフモード
エネルギー	パルスライト+RF	赤外線+RF	ダイオードレーザー+RF	ダイオードレーザー+RF
適応	色素斑、赤み、ハリ、テクスチャ	たるみ（深層）、しわ（鼻唇溝）、小じわ、キメ、毛穴（頬）、ハリ、テクスチャ	小じわ、しわ、毛穴（鼻）、スカー	たるみ（浅層）、ハリ、テクスチャ、小じわ、キメ、毛穴（頬）
加熱温度	60度以下	60度以下	60度以上	60度以下
深達	~1mm	~4mm	~2mm	~1mm
メカニズム	熱ダメージによるメラニン顆粒のターンオーバー促進	熱刺激によるコラーゲンのリモデリング	熱凝固によるコラーゲンのリモデリング 熱の影響を受けない組織を残す	熱刺激によるコラーゲンのリモデリング 熱の影響を受けない組織を残す
照射部位	全顔	全顔または部分	部分	全顔または部分

SR アプリケーターによるスキンリニューアル

複数回の治療により、主に次のような効果が報告されています。

1. 色素斑の改善、美白効果

表皮層の薄いかひ化による剥離作用

2. 皮膚のハリ、テクスチャ、小じわ、毛穴開大の改善

短期的には真皮上層の炎症による浮腫

長期的には繊維芽細胞の活性化によるコラーゲン産生

3. 赤ら顔の改善

真皮上層の拡張毛細血管へのダメージ



SR アプリケーター



色調改善だけではない SR アプリケーターのアプローチ

従来の光治療が光エネルギーのみでアプローチしているのに対し、ePlus では、光エネルギーに加えて RF エネルギーが補完的に働くことで、相乗効果を生み出します。

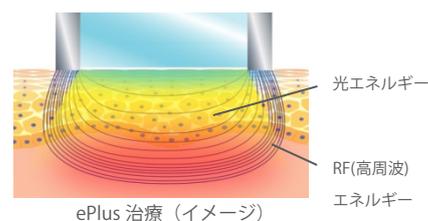
SR アプリケーターでは、光エネルギーが、周囲より密度の高いメラニンを含む表皮にダメージを与え、ターンオーバーによって排出されます。このとき RF エネルギーは、光エネルギーを補うように働きます。

通常、光エネルギーは、まずメラニンを含む表皮に多く吸収されてしまい、さらに皮膚に深く入っていくと拡散していくため、真皮層に届くエネルギーは減衰してしまいます。もっと多くのエネルギーを真皮層に届かせるためには、光エネルギーの出力を上げる必要がありますが、出力を上げていくと、表皮のエネルギー吸収が上がり、痛みが強くなるだけでなく、火傷のリスクも高まります。

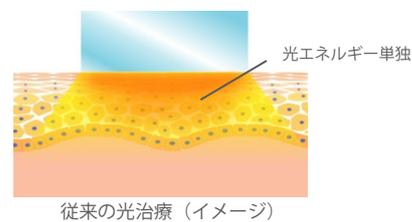
一方、RF エネルギーはメラニン量に関係なく、深部へ熱エネルギーを届けることができます。

SR アプリケーターでは、従来の光治療では難しかった真皮上層も加熱することができます。まず、光エネルギーが真皮乳頭層の毛細血管に吸収されて少しだけ温度を上げます。その後、RF エネルギーが予熱を与えられた真皮乳頭層に集まり、安全に熱を与えます。

短期的には真皮上層の炎症による浮腫、長期的には繊維芽細胞の活性化によるコラーゲン産生により、ハリやキメ、小じわ、毛穴開大など、色調改善以外にも効果を発揮します。



ePlus 治療 (イメージ)



従来の光治療 (イメージ)



写真提供：ユニタ整形外科・形成外科クリニック 院長 野田武司先生

SRA アプリケーターによるワンステップ上の色調改善

複数回の治療により、主に次のような効果が報告されています。

1. より高い色素斑の改善、美白効果

表皮層の薄いかひ化による剥離作用

2. より高い赤ら顔の改善

真皮上層の拡張毛細血管へのダメージ



キレのよい SRA アプリケーターのアプローチ

SRA アプリケーターでは、SR アプリケーターと比べ、約半分のパルス幅を採用しています。

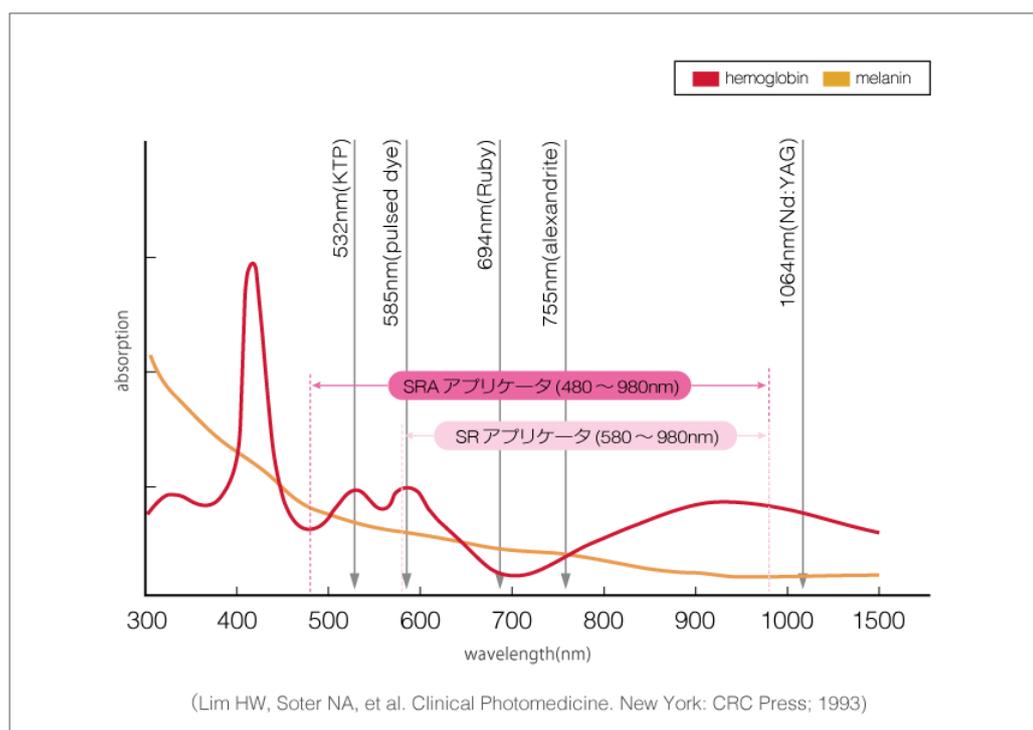
短パルスにしてピークパワーを高めることで、メラニンに対してより熱ダメージを与えることができます。これにより、今まで難しいとされていた色の薄い色素斑に高い効果を発揮します。

SR/SRA アプリケーター 比較表

アプリケーター		SR	SRA
波長 (nm)		580-980	480-980
パルス幅 (msec)	ショート	25	13
	ロング	8×3	4×3
繰返照射数 (Hz)		1	1

また、SR アプリケーターの波長が 580-980nm であるのに対して、SRA アプリケーターは 480-980nm と、メラニンに対してより吸収の高い波長を含んでいます。

SR アプリケーターでまず数回治療し、その後、薄くなった色素斑に対して SRA アプリケーターで治療することで、より安全で効果的な治療を実現します。



Sublime (ST ReFirme) アプリケーターによるタイトニング

複数回の治療により、主に次のような効果が報告されています。

1. たるみの改善

即時的なタイトニング効果、一時的な真皮上層の炎症による浮腫
長期的には繊維芽細胞の活性化によるコラーゲン産生

2. しわ（鼻唇溝）、小じわ、キメ、毛穴(頬)、ハリ、テクスチャの改善

一時的な真皮上層の炎症による浮腫
長期的には繊維芽細胞の活性化によるコラーゲン産生

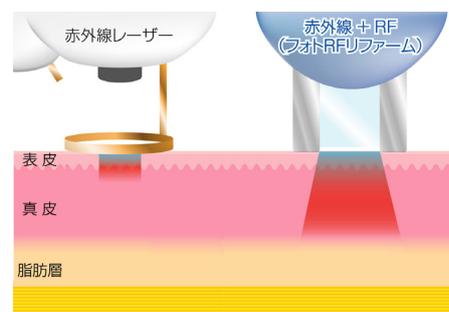


Sublime (ST ReFirme) アプリケーター

光エネルギーによるたるみ・しわ治療の限界

非侵襲的なたるみ・しわ治療の作用起序として、表皮を冷却などにより温存しながら、エネルギーを投与することによって真皮層以下を加熱、創傷治癒反応を利用して繊維芽細胞を刺激することでコラーゲンファイバーの産生を促し、再構築させるといったものが一般的です。このとき、真皮層以下の組織にいかにか安全で、なおかつ十分な熱を与えられるかが、たるみ・しわ治療において非常に重要なポイントになると考えられています。

従来の Non-Ablative Skin Rejuvenation レーザー（主に赤外線レーザー）は、上記のメカニズムを用いて真皮乳頭層付近のコラーゲンの再構築によって極めて浅いレベルのしわやスキントクスチャに有効であることが報告されていました。しかしながら、光エネルギーはクロモファー（色素、水など）に吸収され、対数関数的に減衰するという特性上、光エネルギー単独でのたるみ・しわといった真皮中層～深層へのアプローチには限界があったといえます。

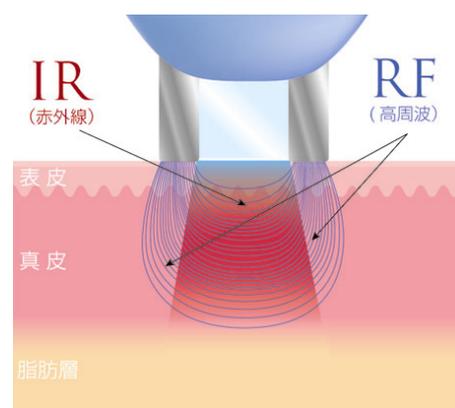


赤外線レーザーと赤外線+RF装置による組織深達度の違い（イメージ図）

深部加熱を実現した Sublime アプリケーターのアプローチ

波長 700～2000nm の赤外線 (IR) と RF エネルギーを組み合わせた Sublime アプリケーターは、はじめに赤外線で加熱し、その後 RF エネルギーによって真皮全体に均一な熱エネルギーを与えます。表皮はコンタクトクーリングによって温存され、安全に治療ができます。

Sublime アプリケーターで用いられる赤外線のクロモファーは水で、メラニンやヘモグロビンといった色素への吸収はきわめて低いため、肌の色に影響されることなく真皮までエネルギーが到達し、真皮内で熱エネルギーに変換されます。組織のインピーダンス（電気抵抗）によって発生する熱量が変化する RF エネルギーは、Selective



赤外線と RF の照射による加熱（イメージ図）

Electro-thermolysis の理論を応用し、ターゲットとする真皮層に予め赤外線です予熱を与えておくことで選択的に温度を上昇させると考えられています。

即時的なタイトニング効果や一時的な浮腫による肌のハリ感を治療直後から実感でき、長期的には加熱された真皮全層の創傷治癒過程でのコラーゲン産生を促します。また、治療を繰り返すことで、長期にわたるタイトニング効果が期待できます。

現代の患者ニーズを捉えた満足度の高い治療

Sublime アプリケーターによるタイトニング治療は、患者満足度が高いことが特長であるといえます。 その大きな理由として、治療直後からタイトニング効果やハリ感を実感できる、即効性が挙げられます。

実際に、治療を半顔終えた状態で鏡で見ていただくと、『目がパッチリ大きく見える』、『鼻唇溝が浅くなって目立たなくなった』、『フェイスラインがシャープになった』などといった変化を多くの患者様が実感します。

さらに、近年の非侵襲的な Rejuvenation 治療においては、患者様が治療法を選択する上での要素として、治療効果もさることながら、痛みが少ない治療であることを重要なポイントとして選択する傾向にあります。従来の治療と比べ、痛みが少ない Sublime アプリケーターによるタイトニング治療は、まさに患者様のニーズに即したものとして高く評価されています。

<特長>

即効性がある

痛みが少ない

患者満足度の高い治療



Motif IR アプリケーターによる形状・質感改善

複数回の治療により、主に次のような効果が報告されています。

<IR モードの適応>

1. 小じわ、しわの改善

2. 毛穴（鼻）、スカーの改善

<モチーフモードの適応>

1. たるみ（浅層）、ハリ・テクスチャの改善

2. 小じわ、キメ、毛穴（頬）の改善



Motif IR アプリケーター

短期的には真皮上層の炎症による浮腫、加熱によるコラーゲン収縮 (IR モード)

長期的には繊維芽細胞の活性化によるコラーゲン産生

	形状					質感		スカー
	たるみ	しわ	小じわ	キメ	毛穴	ハリ	テクスチャ	
IR モード		○	◎		○ (鼻)			△
モチーフモード	◎ (浅層)		○	○	○ (頬)	◎	◎	

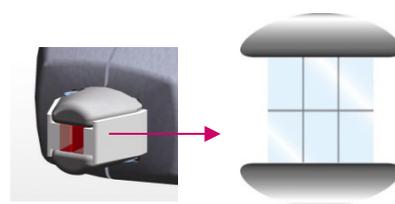
高いエネルギー密度による Motif IR アプリケーターの強力アプローチ

非侵襲的な形状改善治療の作用機序として、表皮を冷却などにより温存しながらエネルギーを投与することによって真皮層以下を加熱、創傷治癒反応を利用して線維芽細胞を刺激することでコラーゲンファイバーの産生を促し、再構築させるといったものが一般的です。このとき、真皮層以下の組織にいかにか安全で、なおかつ、十分な熱を与えられるかが、非常に重要なポイントになると考えられています。

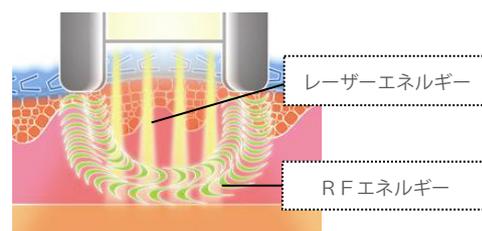
波長 915nm のダイオードレーザーと RF エネルギーを組み合わせた Motif IR アプリケーターは、スポット内で 6 等分にしたレーザーを照射することにより、エネルギー密度の高い熱の帯を作り出し、その結果、深達度を高め、高温の熱を与えることができます。

また、熱の影響を受けない正常な組織を残すことにより、スピーディな創傷治癒を可能にし、副作用や痛みをより少なくします。

さらに、表皮をコンタクトクーリングで温存するので安全です。



ハンドピース先端部 (イメージ)



ダイオードレーザーと RF の照射による加熱 (イメージ図)

Single bar size : ~2.3×0.8mm (0.0184cm²)

Area of 6 bars : ~0.11cm²

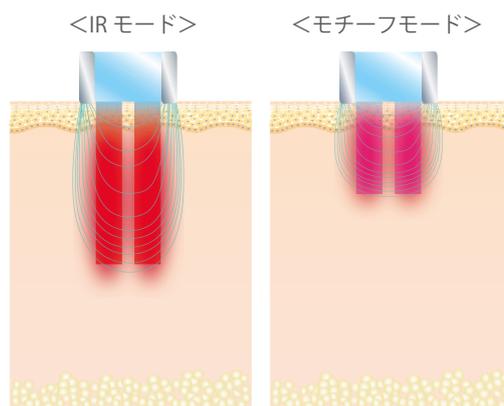
Spot area : 0.25cm² (5×5mm)

Coverage : 44% (0.11/0.25cm²)

治療の幅が広がる 2つの照射モード

Motif IR アプリケータでは、IR モードとモチーフモードの2つのモードがあります。

IR モードでは、高エネルギーを局所的に照射し、真皮上層から中層までを加熱（最高温度約 60℃）します。短期的には浮腫とコラーゲン収縮、長期的には線維芽細胞を刺激して、創傷治癒過程におけるコラーゲンの産生を促します。小じわやしわ、鼻の毛穴、スカーに対して効果的です。



モードの比較（イメージ）

モチーフモードは、一定の面積に低出力のエネルギーを 10Hz という非常にスピーディな照射スピードで複数パスを重ねることで蓄熱させる治療です。痛みが少なく、スキンタイプを選びません。

真皮上層を加熱（最高温度約 60℃以下）し、短期的には一時的な浮腫、長期的には線維芽細胞を刺激して、創傷治癒過程におけるコラーゲンの産生を促します。肌にハリを与え、テクスチャを改善します。さらに、Sublime アプリケータと組み合わせることで、浅層から深層までアプローチすることができ、より高いスキンタイトニング効果が得られます。

IR／モチーフモード 比較表

	IR モード	モチーフモード
波長 (nm)	915	915
Fluence (J/cm ²)	~70	-
RF (J/cm ³)	~100	-
Total Energy Per Pulse (J)	-	2.5
Total Energy Per Second (J)	-	25
繰り返し照射数 (Hz)	1	10
Treated Area (mm)	8×5	8×5
加熱温度 (℃)	最高温度約 60℃	最高温度約 60℃以下
照射部位	局所照射（しわ、毛穴、スカーの直上）	部分照射



ematrix™
[eマトリックス]

独自の加熱形態により、低ダウンタイムながらニキビ・ニキビ痕を改善
さらに、毛穴開大の改善・リジュビネーション効果も発揮

RF によるフラクショナル治療「eMatrix」のアプリケーターを ePlus に搭載できるようになり、治療の幅が広がります。高い治療効果でありながら、フラクショナル治療としては痛みやダウンタイムが少ないのが特長で、安全かつリスクの少ない治療を実現します。

eMatrix アプリケーターによるニキビ・ニキビ痕などの改善

複数回の治療により、主に次のような効果が報告されています。

1. ニキビ、ニキビ痕の改善

皮脂腺への熱ダメージによる皮脂分泌抑制
リサーフェシングによる角化正常化
長期的には創傷治癒によるコラーゲン産生

2. 毛穴開大・小じわ・癬痕・キメ・ハリ・テクスチャの改善

短期的には真皮上層の炎症による浮腫
長期的には創傷治癒によるコラーゲン産生

3. 色調改善・引き締め効果

リサーフェシングによる色調改善、熱による収縮とコラーゲン産生による引き締め



eMatrix アプリケーター

特長的な加熱層を形成する eMatrix アプリケーターのアプローチ

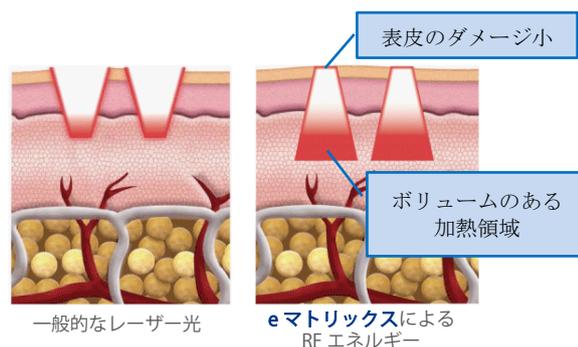
RF (高周波) をフラクショナル (細かい点状) に照射することで、表皮への熱ダメージは少なく、真皮への熱作用を強力に及ぼします。

一般的に、レーザーなどの光エネルギーは、皮内で集光・減衰するため、深部にいくほど、熱作用は乏しくなります。

eMatrix の場合、RF (高周波) エネルギーによる加熱領域が円錐形に形成されるため、表皮への熱ダメージは少なく、真皮へボリュームのある効果的な加熱を実現し、よりコラーゲン産生に優れているといわれています。

従来のフラクショナル治療同様、照射の影響を受けない周囲の正常組織により、治療後から迅速な創傷治癒が始まり、表層の点状の小さなかさぶたが数日で剥がれ落ちます。CO₂ フラクショナルレーザーなどの Ablative Fractional Laser に比べ、同等以上の効果でありながら、出血や浸出液がなく、痛みやダウンタイムも短いのも特長です。

<加熱層の比較イメージ>



様々な症状に対応する幅広い治療レベル設定

浅層加熱： Program A	中層加熱： Program B	深層加熱： Program C
微小な蒸散と真皮加熱、スキンリサーフェシング効果。スキントーン、テクスチャ改善に。 	軽度の蒸散と真皮加熱、スキンリサーフェシング効果。色調とテクスチャ改善に。 	中等度の蒸散と高いスキンリサーフェシング効果。小じわやアクネスカーなどの皮膚形態異常の改善に。 

ニキビ・ニキビ痕に対する高い改善効果

eMatrix 治療後、組織学的に真皮上層の膠原繊維と弾性繊維の増加を認め、ざ瘡癬痕の改善と強く関連していることが示唆されています^{*1}。さらに、毛包脂腺付属器周囲の裂隙・脂腺の組織変性を認め、ざ瘡やざ瘡癬痕の著明な改善例^{*2}やざ瘡の皮疹数の減少^{*3}が報告されています。

RF エネルギーによる加熱が皮脂分泌の抑制や角化異常の正常化に関与していると考えられており、従来の治療では難治であったざ瘡やざ瘡癬痕に対し、着々と治療実績を積み重ねています。

*1 ざ瘡癬痕に対するフラクショナルRF (eMatrix) の治療効果と組織学的検討 上中智香子ほか 和歌山県立医科大学皮膚科, 光学的美容皮膚科講座 第112回日本皮膚科学会総会 2013.6.14-16
*2 ざ瘡癬痕に対するフラクショナルRF (eMatrix) の治療効果と組織学的検討 上中智香子ほか 和歌山県立医科大学皮膚科, 光学的美容皮膚科講座 第45回日本結合組織学会学術大会 2013.6.28-29
*3 ざ瘡・ざ瘡癬痕に対するフラクショナルRF (eMatrix) の治療効果と安全性 上中智香子ほか 和歌山県立医科大学皮膚科, 光学的美容皮膚科講座 第31回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 2013.8.10-11 ポスター賞受賞



脱毛

RF 脱毛

低出力エネルギーで蓄熱させる新モードを搭載
安全でスピーディなのはもちろん、痛くない「RF 脱毛」を実現

日本人の肌と毛に適した波長を有するレーザーとパルスライトの2種類のアプリケーションは、RF（高周波）の同時照射により、深部まで安全・効果的に加熱します。さらに、新しく搭載された照射モードにより、スピーディで痛みが少なく、適応するスキンタイプの幅が広がりました。

Motif LHR アプリケーターによる「レーザー+RF」脱毛

Motif HR アプリケーターによる「パルスライト+RF」脱毛

複数回の治療により、主に次のような効果が報告されています。

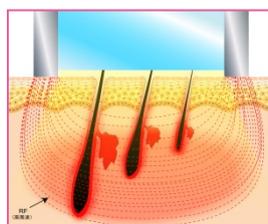
脱毛効果

毛の周囲組織へのダメージによる脱毛



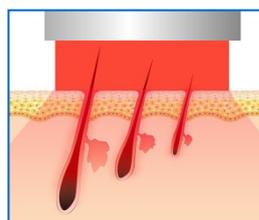
Motif LHR/Motif HR アプリケーターのアプローチ

現在、毛母やバルジ、皮脂腺開口部付近のいずれか、またはそれら全部が毛の再生に関わると考えられています。はっきりとしたことは解明されていません。そのため、レーザー脱毛ではそれらを含む毛包全体と周囲組織をターゲットにしています。いったんメラニンが多く含まれる毛と毛球部にレーザー光を吸収させ、周囲へ伝達する熱エネルギーによって毛包を焼灼します。しかし、メラニンは表皮にも含まれており、特に東洋人（Skin Type III&IV&V）の表皮にはメラニンが多く存在するため、表皮にダメージ（火傷）を与えてしまうこともあります。従来の脱毛レーザーの光エネルギーは、表皮のメラニンに強く吸収され、深部では拡散されてしまうため、真皮層、皮下組織にまで及ぶ毛包全体に十分にエネルギーが届かないことがあります。さらに、色黒の皮膚では火傷のリスクがあるために照射出力を上げられない、色の薄い毛や軟毛ではメラニン量が少ないために光エネルギーが吸収されにくいなど、十分な治療効果が得られないといえます。



Motif LHR/Motif HR 脱毛

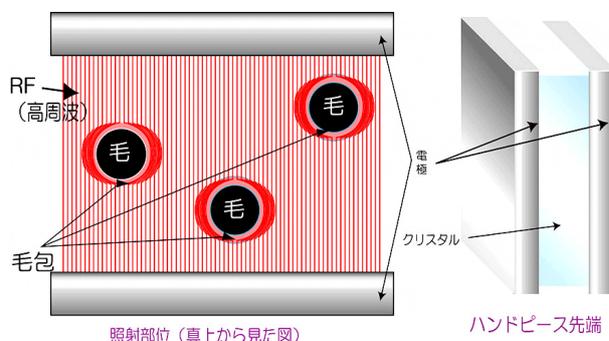
- RF 皮下3~4mmを中心に温度が上昇
- 深い毛球部には十分なエネルギーが到達し、皮膚表面は熱発生が少ない。



レーザー脱毛

- 毛からの放熱により毛包周囲が温度上昇
- エネルギーが減衰するため、深い毛球部には十分なエネルギーが到達しにくい。

RF（高周波）エネルギーは、光エネルギーとは異なる選択性を持ち、メラニン量に関係なく、3~4mmの深さに到達します。また、毛を避けるように流れるので、毛の周囲組織に集中してダメージを与えることができます（右図）。これにより、従来の光エネルギーによる痛みや火傷のリスクが抑えられ、肌や毛の色に影響されない脱毛治療が可能になると考えられています。また、レーザー脱毛で難しいとされる色の薄い毛や軟毛、うぶ毛に対する効果も期待されています。



施術部位や痛みに応じて選べる2つの照射モード

脱毛のゴールはターゲットとなる毛包全体と周辺組織に熱ダメージ(65℃以上)を与えることです。従来のレーザー脱毛では1ショットの照射で一気に目的の温度に上昇させるため、痛みを強く感じるがありました。

新たに加わったモチーフモードでは、従来の脱毛レーザーに比べ、弱い出力(ダイオードレーザー：4~8mJ/cm²、RF：5~10mJ/cm³)で照射を行います。また、一定のエリアに10Hz(Motif LHR アプリケーター)の照射スピードで重ねて照射することにより、皮膚の温度を徐々に上昇させていきます。肌は、急激な温度上昇の場合に熱を強く感じやすく、緩やかな温度上昇の場合には熱を感じにくいという性質があります。モチーフモードによる照射は、急激な温度上昇がないため、「痛みの少ない脱毛」が可能となりました。また、レーザーの出力が低いため、表皮のメラニン量が多いSkin Type III&IV&Vでも安全に治療を行うことができます。

LHR/HR モード

(高出力で1ショットずつ照射)

◆早い照射スピード

最大照射スピード3Hz※により、広いエリアもスピーディに照射ができます。

※Motif LHR アプリケーターの場合

モチーフモード

(低出力、10Hzで重ねて照射)

◆痛みが少ない

急激な温度上昇がないので、痛みを感じにくい。

◆スキンタイプを選ばない

弱い出力を重ねて照射するので、色黒の肌にも照射可能。

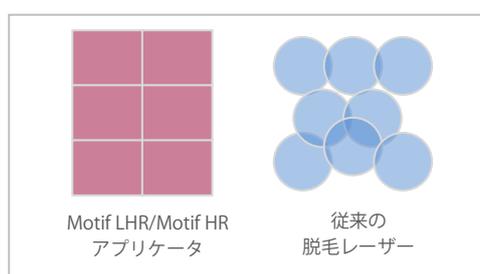
Motif LHR/Motif HR アプリケーター 比較表

LHR/HR モード			モチーフモード		
アプリケーター	Motif LHR	Motif HR	アプリケーター	Motif LHR	Motif HR
波長 (nm)	810	680-980	繰り返し照射数 (Hz)	10	3
Fluence (J/cm ²)	~50	~45	Total Energy Per Pulse (J)	14	16
RF (J/cm ³)	~50	~25	Total Energy Per Second (J)	140	48
繰り返し照射数 (Hz)	1, 1.5, 2, 3	1			
Treated Area (mm)	15×12	25×12			

高い安全性と効果

Motif LHR/Motif HR アプリケーターの照射面は、スクエア型のため、重ねうちや照射もれの少ない均一な照射が可能です。このため、火傷などのリスクが少なく、治療効率の高い治療を可能にします。

<Motif LHR アプリケーター>



アプリケーション別適応表

アプリケーション	アプリケーション	色調			形状					質感		ニキビ・スカー		脱毛
		色素斑	赤み	レッグ ヴェイン	たるみ	しわ	小じわ	キメ	毛穴	ハリ	テクス チャ	ニキビ	ニキビ痕 癬痕	脱毛
trinity Plus+ 【トリニティプラス】	SR	◎	○				△	△	△	○	○			
	SRA	◎	○							○	○			
	Sublime (ST ReFirme)				◎ (深層)	○ (鼻唇溝)	△	△	○ (頬)	○	○			
	Motif IR モード					○	◎		○ (鼻)				△	
	IR モチーフ モード				◎ (浅層)		○	○	○ (頬)	◎	◎			
eMatrix™ 【eマトリックス】	eMatrix	△			△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
RF 脱毛	Motif LHR													◎
	Motif HR													◎
	AC											○		
	LV			○										
	LVA			◎										



歴代の Syneron 製品



Aurora SR Aurora Pro Comet Polaris Galaxy



elaser eMax eLight eMatrix™



ePlus

ePlus™